第１回　周防大島町学校跡地施設利用検討委員会（旧椋野小学校）会議録（要約版）

１　日　時　令和７年 11 月６日（木）14 時 00 分から 16 時 00 分まで
２　場　所　椋野出張所　大会議室
３　出席状況　欠席者２名

４　資　料
(1) 学校統合に伴う廃校舎等利活用募集要項
(2) 学校配置図及び平面図
(3) 事業計画書等
(4) 財務関係資料

５　内　容
○　会議については、応募者の管理運営に関するノウハウ等が含まれているため、非公開とすることに決定した。
○　採点基準について、各評価項目１０点満点の５段階評価であったが、採点を細かくした方がよいのではないかと御意見があり、会議の中で基本を６点とし、各評価項目１０点満点の１１段階評価に変更することを決定した。
○　応募者からの事業説明、質疑応答後に採点・集計を行った。
○　採点結果、利活用候補者について決定され、第２回検討委員会にて第１回検討委員会の報告書（案）の作成を議題にすることを連絡した。

６　質疑応答
(1)　Ａ者
（委員）将来的に事業が成功し軌道に乗った時点で、売却することは考えているか。
（Ａ者）現時点では、会社として自分たちが支配できないような体制の構成は考えていない。事業を拡大するには大きな資金調達が必要であり、株主構成については注意を払いながら進める必要があると考えている。資金調達の際には地域住民と相談しながら進め、望ましくない株主構成を避けるために慎重に対応する。基本的には、会社自らが運営していく事業として進めていくつもりである。
（委員）契約書の中には、売却について明記されているのか。明記されていないのであれば弁護士も入れて対応してほしい。また、契約中に撤退するときの条件についても記載はあるのか。
（事務局）現在の契約書には、売却についての記載はない。売却について明記するよう対応する。撤退の条件については、契約書上は 10 年としており、10 年以内に撤退する場合は違約金を請求する。
（委員）雇用について、この大島で雇用するお考えか。
（Ａ者）蒸留のオペレーションと実際にお酒を造ることに関しては、ご紹介させていただいた外国人に管理監督者になっていただく。それをベースに、実際この地域で優先的に働いていただける方を探していければと考えている。
（委員）排水に関して、川や海に流すのか浄化槽や下水を使用するのか、どのようにお考えか。

（A者）酒造りで排水が発生するため、排水処理を慎重に検討し、自然環境を優先しながら進める方針であり、それもお酒のブランド価値に繋げたいと考えている。

（委員）椋野小学校周辺の道の狭さに伴い、搬入や搬出時の車の往来への対応、地域住民への配慮についてどのようにお考えか。

（A者）道幅の課題には大型機械を組み立て式にして運搬する工夫を検討しているが、物流についてはまだ課題が残っている。道の管理や地域住民への対応は重要と考えており、気付いた点については積極的に教えてほしい。特に予算の振り分けを検討する際には、優先的に対応すべき事項について改めて話し合いを希望している。

（委員）初期資金調達の目途は立っているのか。

（A者）代表取締役とアメリカのメンバーで 3000 万弱を準備している状況で、あとは彼らのつてでアメリカの投資家が正式に廃校利活用できる見込みが立てば、1 億から 1 億 5 千程度の投資見込みが立っている。目標の初期投資の残り 1 億については少し頑張って、投資家に対して働きかけていきたい。

（委員）新築ではなく廃校にこだわる理由は何か。

（A者）廃校を活用したお酒造りは、単なる製品作り以上に付加価値や地域のつながりを生み出し、次世代へとつながる意義深いプロジェクトであり、誇りを持って取り組みたいと考えている。

（委員）スタッフは何名ぐらいで考えているか。

（A者）最初は酒造りに 3〜5 名を配置し、事業が安定してきたら営業・マーケティングや管理部門を含めたスタッフを増やし、日本や海外に向けた展開を進める計画で、今後 5 年間で 5〜15 名程度の体制を考えている。

（委員）住宅などはその時に考えるのか。

（A者）はい。

（委員）水は井戸水を使用する予定なのか。

（A者）ウイスキーの製造時には良質な井戸水を使用したいと考えているが、まずはジンの製造から始め、水道水を活用しつつ水を浄化する設備投資を行い、信頼関係を築くことを重視したい。

（委員）災害時の避難所として試飲スペースを設計するという点は安心できるが、具体的な運用について、例えば校舎が閉まっている場合や津波警報が出た際のスペースの開放方法などの対応をどう考えているのか。

（A者）施設運営開始後には地域と施設管理者が連携し、鍵の管理方法やオートキーの番号共有などを協議する場を設けることで、避難所の管理と運営を地域と協力して行うべきだと考えている。

（委員）施設立ち上げの方は常駐されるのか。

（A者）最初は外国人メンバーが常駐して蒸留所の設立や酒造りを中心に活動し、その後本格的な営業を進める中で自分たちも常駐したいと考えている。また、会社として全員が住める住居を探しており、良い物件があれば紹介をお願いしたい。

（委員）建物の管理が重要であり、放置されて草が生い茂るような状況は困るため、適切に管理してほしい。

（A者）はい。

（事務局）３階のスペースを緊急避難所として、万が一津波等が来た場合には、そこを開放していただけるということでよろしいか。

（A者）はい。

（事務局）椋野小学校のどこにひかれて、応募したのか。

（A者）後ろが山、前が海という素晴らしい自然環境と歴史文化のある廃校を活用することで、飛騨高山の事例を超える競争力とインパクトを持つ場所として展開できると考え、この場所を選んだ。

（事務局）水は何を使うのか。是非とも水道水を使っていただきたい。井戸を使う場合は、地域に影響はないのか、十分調査し、地域住民には、しっかりとした説明を要望する。

（A者）まずは水道水を活用し、ウイスキー製造に向けて井戸水の利用については相談しながら時間をかけて進めていきたい。

（事務局）雇用について、地域住民を優先的に採用していただきたい。

（A者）地域住民と協力して事業を進める計画であり、まずは地域住民の雇用を優先したい。

（事務局）従業員は椋野または周防大島に住んでもらえるのか。

（A者）この地域に根差し、住民になれるよう努力しつつ、ビジネスを進めていきたいので、協力をお願いしたい。

7　採点結果

○採点集計の結果、平均 66.25 点となり基準の 60 点を満たしたため、当委員会としての利活用候補者をA者とする。

8　審査の講評

○ A者に関する意見

・椋野小学校の活用が町全体の活性化につながり、農業や観光なども動き出す可能性があることに期待している。一方で、資金面の問題や失敗のリスクを懸念しており、町からの補助金の有無が気になっている。また、排水設備や高圧電圧設備への対応について具体的にどう計画しているのか疑問を感じた。全体として計画の成功を願いつつ懸念点の解消を求めている。

・椋野小学校の 3 階が避難所として活用されることを嬉しく思うとともに、会社の成功を願っている。

・この事業が思い出のある学校を有効活用し、避難所としても活用されることは地域にとって非常に意義深く、地域全体で支援していけることを期待している。

・事業は魅力的だが、立ち上げ資金の不足に懸念があり、計画実行に向けて事務局がしっかり連絡を取り合うことを求めている。

・財務や資金計画に不明点や不安はあるものの、海外に目を向けた取り組みや子どもたちへの学びの機会提供で、地域の新たな教育の一翼を担うことに期待している。